

# 校長室便り



(家庭数配付)

令和4年5月31日

第2号

白井市立白井第一小学校  
校長室発行

## 一小的の好きなとこ

4・5月には、予定していた教育活動を実施することができ、たくさん子どもたちの笑顔を見ることができました。特に5年生の自然教室では、普段学校では経験できない活動に一生懸命取り組む姿を見ることができました。

さて、そのような有意義な2ヶ月間に、嬉しい出来事がたくさんありましたので、ご紹介します。

### その1 いつもきれいに靴が揃っている下駄箱



私は毎朝、子どもたちの下駄箱を見回ることを日課としています。登校していない子を確認すると共に、靴の並べ方をチェックしています。ただ、一小ではほとんど靴を並べ直すことがありません。さすがに4月当初の1年生は、靴が乱雑に置かれていましたが、今では全員きちんと並べられています。朝、靴を並べる余裕を持って生活をスタートできていることが、落ち着いた生活態度に繋がっていると思います。きれいな下駄箱。大好きです。

### その2 右側通行への工夫



昨年度から児童会が中心となり「廊下の右側通行」を徹底させる取り組みが行われています。廊下の真ん中に折り鶴やマークを置いたり、呼びかけのポスターを貼ったりしました。今年度は6年生が床に矢印を貼り、ポスターを壁に立体的に掲示しています。

子どもたちが知恵を絞り、取り組みが年々グレードアップしています。特に今年のポスターは、「～はダメ。」ではなく「～しよう。」になっているところが素晴らしい。「自分たちの生活を、自分たちの力でより良くしていこう。」という姿勢。大好きです。



### その3 きれいになった学校前の路肩



先日のPTA本部会議で、学校前の木下街道の路肩に草が生え、自転車が通りづらくなっていることが話題になりました。以前は自治会で清掃が行われていたようですがコロナ禍で実施できず、土がたまり路肩を埋めているので、多くの自転車が歩道を走っています。子どもたちの登下校時にも何台もの自転車が歩道を走っていますが、あまりにも危険なので「車道を走りなさい。」とは言えない状況でした。すると山口副会長が、「俺が暇見てやっときますよ。」と申し出ていただきました。そして数日後、見事に路肩の草や土までも取り除かれました。「誰もやらないなら俺がやる。」という考え方が大好きです。

子どもたちの落ち着いた生活・より良くしようとする向上心、保護者・地域の協力。こういった力が今までの白一小を支え、これからの白一小を進化させていくのだと思います。今後もいろいろな場面で、私の大好きな出来事や考え方を発見できるよう、子どもたちの頑張りに期待し、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。